新しい事業を生み出す創造人材を育成する

イノベーション人材育成研修のご提案



BLOOM CONCEPT

両利きの経営を実現することが、急務です

現代のビジネス環境は、技術の進歩、消費者の嗜好の変化、グローバル経済の変動などによって、かつてない速さで変化しています。このような環境では、既存のビジネスモデルを維持しながら、新しい機会を迅速に捉える能力が重要になります。技術革新や新しいビジネスモデルは、市場での競争優位性を確保するために不可欠です。また、新しい事業領域への進出は、持続可能な成長を実現するための鍵となります。

『両利きの経営』は、こうした課題に対する確かなソリューションを提示しています。両利きの経営は、組織が変化に柔軟に対応し、速やかに適応する文化を醸成します。これにより、予期せぬ市場の変動や新たな競争への対応が可能になります。また、既存の顧客基盤を維持しつつ、新たな顧客層を開拓します。これにより、市場の変化に応じて顧客ニーズに迅速に対応することが可能となります。

しかし、その実現にはふたつの課題があります。ひとつは人材です。異なるビジネスモデルや市場への取り組みは、様々なスキルと視点を持つ人材を必要とします。また、既存事業と新規事業の組織文化のコンフリクトをどのように解決するのかということも、大きな障壁となります。

ブルームコンセプトは
イノベーター人材を育成し、企業文化を変革することで
「両利きの経営」を実現します

投資に値する良いアイディアと、
月並みなアイディアを
どのように区別しているのだろうか。

この課題に対応する方法論が、
リーン・スタートアップと
ビジネスモデル・キャンバスであり、
どちらも自分たちのアイディアを
市場で検証することができる。

チャールズ・A・オライリー、マイケル・L・タッシュマン『両利きの経営』より

イノベーション研修でこんなことに悩んでいませんか？

1 イノベーションの実践の難しさ

研修では理論は学べるものの、実際の業務でその知識を活用するのが難しい

2 イノベーションに対するマネジメントの無理解

せっかく新規事業のアイデアが生まれたのに、それを支援するマネジメントの理解が得られない

3 イノベーションを阻む企業文化の障壁

失敗を忌避する企業文化が障壁となって、誰もチャレンジしようとしない

ブルームコンセプトは以下のように解決します

1 ビジネスモデル・キャンバスによる実践

アイデアで終わらず、ビジネス仮説を立案し、リーン・スタートアップで実証を進めていきます

2 アクション・ラーニングによるメンターの巻き込み

実践に対して上層部を巻き込み、実践のプロセスを共有しながら進めていきます

3 デザイン思考により企業文化を変革する

失敗から学ぶデザイン思考により、学習する企業文化を醸成します

お客様の声







コニカミノルタ株式会社 様

ビジネスモデルキャンバスを使うことで、ビジネス全体について順を追って網羅的に考えることができました。みんなが同じルールを理解したことで、視点がぶれずスムーズに議論が進んだと思います。

サッポロビール株式会社 様

このプロジェクトでは、まず夢を描くところから始まり、ある程度形を描いてから、調査をするというところが新鮮でした。こういったプロセスを踏んだことで、普段考えているものとは違うアイデアが出たのだと思います。

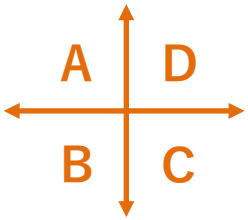
株式会社沖縄 TLO 様

ビジネスモデルキャンバスは、ビジネスモデルを考えていくうえで必要な要素を網羅的に可視化してくれるので、企業の方々が自分たちを見つめなおすためのツールとしてもとても有用です。

6つのプログラム

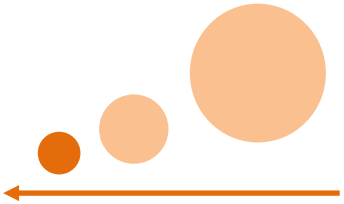
6つのプログラムを組み合わせることによって、さまざまなイノベーション課題へのソリューションを提供します。

1 スケーリング シナリオ分析



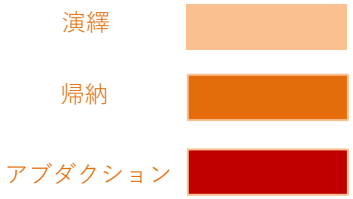
４つの業界シナリオから、戦略オプションを検討します。これにより、不測の事態に対応できます。

2 スケーリング 事業構想



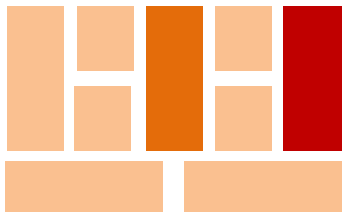
未来からのバックキャストにより、新規事業を構想します。これにより、将来の発展性のある事業構想を立案できます。

3 アイディエーション 創造的問題解決



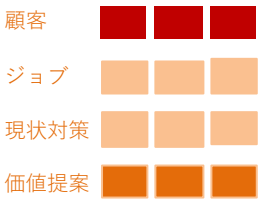
アート思考を活用して、これまでにない新しい発想で問題解決のアイデアを生み出すことができます。

6 インキュベーション／スケーリング ビジネスモデル設計



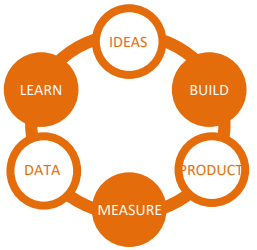
ビジネスモデル・キャンバスを活用し、組織能力を活用して事業全体を設計します。

5 インキュベーション 顧客ニーズ理解



顧客のジョブを把握し、現状対策への不満をヒントに新しい価値提案を設計します。

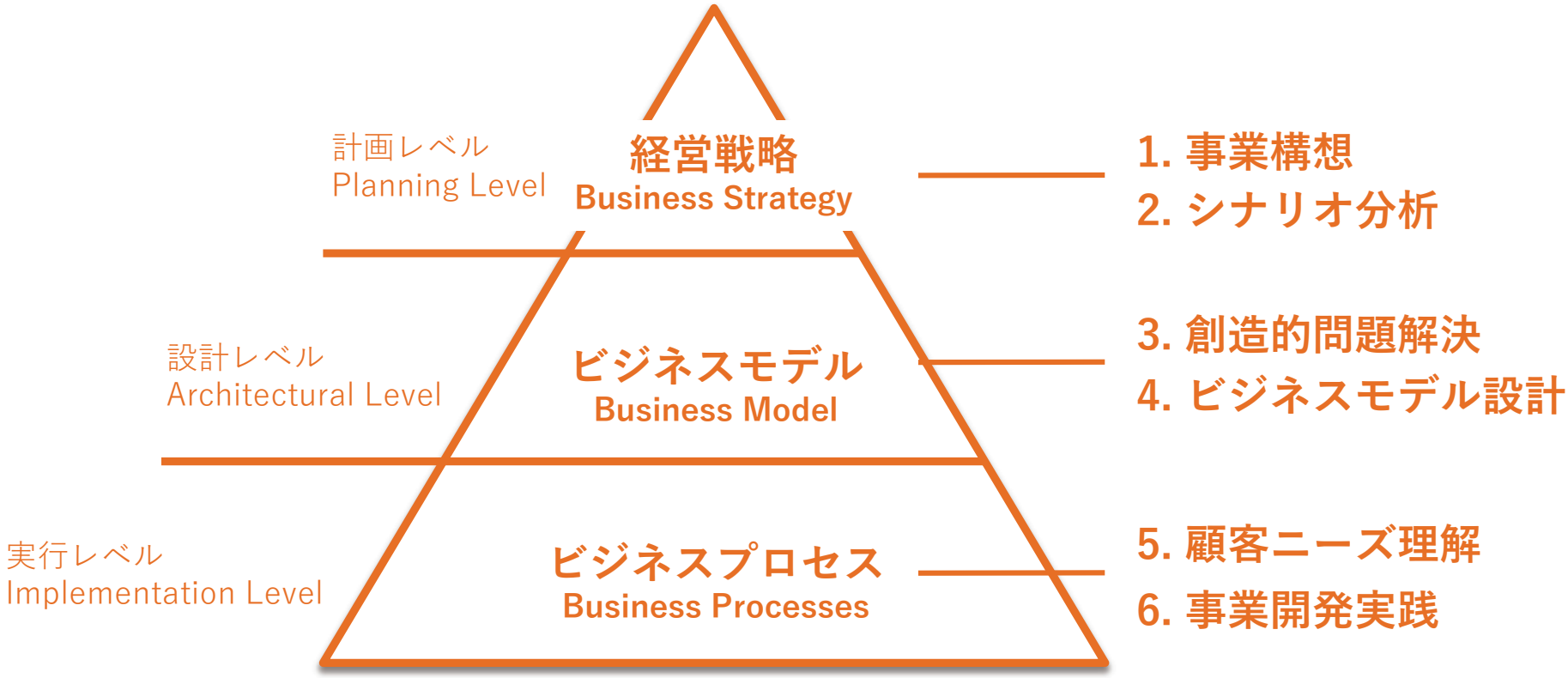
6 インキュベーション 事業開発実践



リーン・スタートアップ手法によって、価値提案と事業コンセプトの実証を進めます。

6つのプログラムのレイヤー構造

計画レベル、設計レベル、実行レベルにおける各プログラムの対応関係を図示しています。



6つのプログラムと課題との対応関係

さまざまな課題に対応してプログラムを構成しています。

先行きが不透明で、**想定外の将来を見据えた意思決定ができていない**。	**シナリオ分析**
新規事業を担当する社員が長期的な事業の展開を構想できておらず、**小粒の事業にとどまっている**。	**事業構想**
保守的で規範意識が高すぎるため、**不確実性の高い新しい取り組みが、主体的に進められない**。	**創造的問題解決**
新規事業を担当する社員が自分の作りたい商品を作ってしまい、**顧客視点での検討がされていない**。	**顧客ニーズ理解**
新規事業を担当する社員にマネジメント経験がなく、**事業全体を俯瞰してみることができない**。	**ビジネスモデル設計**
新規事業を担当する社員がなかなか行動に踏み出せず、計画ばかりに時間がかかり、**机上の空論に終始している**。	**事業開発実践**

講師プロフィール　小山龍介





株式会社ブルームコンセプト　代表取締役
名古屋商科大学ビジネススクール　教授／京都芸術大学　特任教授
ビジネスモデル学会　プリンシパル
一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会　代表理事
一般社団法人日本能楽謡隊協会　理事
一般社団法人きりぶえ　理事
MBA（経営学修士）/MFA（芸術学修士）

1975 年福岡県生まれ。AB 型。京都大学文学部哲学科美学美術史卒業。大手広告代理店勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院で MBA を取得。卒業後、松竹株式会社新規事業プロデューサーとして歌舞伎をテーマに広告メディア事業、また兼務した松竹芸能株式会社事業開発室長として動画事業を立ち上げた。2010 年、株式会社ブルームコンセプトを設立し、現職。

コンセプトクリエイターとして、新規事業、新商品などの企画立案に携わり、さまざまな商品、事業を世に送り出す。メンバーの自発性を引き出しながら商品・事業を生み出す、確度の高いイノベーションプロセスに定評がある。また、ビジネス、哲学、芸術など人間の幅を感じさせる、エネルギーあふれる講演会、自分自身の知性を呼び覚ます開発型体験セミナーは好評を博す。そのテーマは創造的思考法（小山式）、時間管理術、勉強術、整理術と多岐に渡り、大手企業の企業内研修としても継続的に取り入れられている。 また、翻訳を手がけた『ビジネスモデル・ジェネレーション』に基づくビジネスモデル構築ワークショップを実施、ビジネスモデル・キャンバスは多くの企業で新商品、新規事業を考えるためのフレームワークとして採用されている。

2013 年より名古屋商科大学ビジネススクール客員教授、2015 年より准教授として「ビジネスモデルイノベーション」を教える。さらに 2014 年には一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会を立ち上げ、代表理事に就任。「地域おこし協力隊」を始め、地域活性化におけるビジネスモデル思考の普及活動に取り組む。世界各国で実施されているビジネスモデルコンペティションの日本における審査員、東海北陸ラウンドの実施委員も務める。2016 年から 2018 年までは文化庁嘱託日本遺産プロデューサーとして、日本遺産認定地域を訪問しアドバイス業務を行う。

著書に『IDEA HACKS!』『TIME HACKS!』などのハックシリーズ。訳書に『ビジネスモデル・ジェネレーション』など。著書 20 冊、累計 50 万部を超える。 また、2013 年より宝生流シテ方能楽師の佐野登に師事、能を通じて日本文化の真髄に触れる。2015 年『土蜘』、2021 年『高砂』、2025 年『橋弁慶』を演能。2018 年より写真家としての活動を開始、2018、2019 年京都芸術大学グループ展『和中庵を読む』、2023 年グループ展『Inter-Action』、2026 年個展『ドニエストル、記憶の光』開催。2024 年 APA WARD 入選。

他社との違い

同様のイノベーションプログラムを提供する他社との違いを図示しました。

	ブルーム コンセプト	ビジネス系 コンサル	デザイン系 コンサル	専門系 コンサル
創造性 常識にとらわれない新しい着想	○	X	○	△
事業性 ビジネスとしての可能性	○	○	X	○
専門性 業界に特化した知見	△	△	△	○
領域横断 他の業界の知見の獲得	○	○	○	X

講演テーマ例

ビジネスモデル

「デジタルトランスフォーメーションがもたらすビジネスモデル革新」
「圧倒的な競争優位を生み出すビジネスモデルのつくりかた」
「イノベーションを生み出す企業が実践するビジネスモデル思考」
「ビジネスモデル分析の手法と競合比較」
「ビジネスモデル創造の図解術」

デザイン思考・アート思考

「新しいコンセプトのつくりかた」
「顧客ニーズを捉えた商品コンセプトの設計手法」
「アートがひらくビジネスモデル・イノベーション」
「即興による新しいアイデア発想術」
「ポストコロナのシナリオ・プランニング」

働き方・ライフハック

「効率と創造性を高めるライフハック」
「ポストコロナのキャリア開発」
「働き方改革に対応する新しいワークスタイル」

会社概要

Vision

Across the Universe
地球規模の事業を展開する

Visualize the Future
未来を映像化する

Mission

Concept-Driven Innovation
コンセプトで世界を変える

株式会社ブルームコンセプト
（適格事業者登録番号：T7010401086457）

設立年月日　2010 年 2 月 19 日
資本金　2,500,000 円
所在地　152-0035　東京都目黒区自由が丘 3 丁目 6 番 1 0 号

役員
代表取締役　小山龍介
社外取締役　山田真哉

沿革

2010 年　創業
2010 年　サッポロビール　ワイン開発プロジェクト
2011 年　東日本大震災 石巻支援活動
2012 年　『ビジネスモデル・ジェネレーション』翻訳出版
2013 年　沖縄 TLO　沖縄県産業振興プロジェクト
2013 年　コニカミノルタ　新事業開発プロジェクト
2014 年　一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会 設立
2014 年　大手電機メーカー新規事業提案制度 支援
2016 年　文化庁「日本遺産」事業 支援
2016 年　ニライカナイ自由が丘　開店
2016 年　一般社団法人日本能楽謡隊協会 設立（現「未来につながる伝統」）
2019 年　食品メーカー 商品開発プロジェクト
2019 年　大分県文化財保存活用大綱策定委員会 委員
2020 年　一般社団法人きりぶえ 設立（京都府亀岡市）
2020 年　環境省 大熊双葉プロジェクト 支援
2020 年　大分県文化財保護審議会 委員
2021 年　丹波篠山市日本遺産・創造都市推進委員会 委員長
2022 年　大熊町大野駅前再開発 審査委員
2023 年　UR 洋光台再開発 審査委員
2023 年　化学メーカー新規事業開発プロジェクト
2023 年　丹波篠山国際博 アドバイザー
2024 年　住宅設備機器メーカー　イノベーションプロジェクト
2024 年　日経 Leading High-Performance Team 講座講師
2025 年　六ヶ所村まちづくりワークショップ 実施
2026 年　ニライカナイ自由が丘 10 周年